

# TOKYO Night & Light

～蜷川実花 with EiMの世界観で彩られたプロジェクションマッピング～

## 『Tokyo Rebirth—都市の魂が巡る、深淵と再生の旅』を 4月25日(土)より公開！

東京都は、東京の夜を彩る新たな観光資源創出に向け、都庁舎をキャンバスに光と音で多彩なアートを表現するプロジェクションマッピングを通年上映しています。

新たに4月25日(土)から、国際的に活躍するアーティスト蜷川実花 with EiMの世界観で彩られた華麗なプロジェクションマッピング作品『Tokyo Rebirth—都市の魂が巡る、深淵と再生の旅』を公開いたします。高い芸術性や世界をリードする技術・コンテンツ等から生み出される本取組に、是非ご注目ください。

### 作品概要

■**タイトル** 『Tokyo Rebirth—都市の魂が巡る、深淵と再生の旅』

■**上映開始日** 4月25日(土)

### ■見どころ

この作品は、都市をひとつの生命として捉え、その内奥に潜む変容のエネルギーを描き出す。

東京のような巨大都市は、情報や光が絶え間なく流れ込み、混沌と秩序、生と死がせめぎ合いながら脈動する場所。

その深みに目を凝らすと、硬質な構造の内側から、色と光が噴き出すように広がり、やがて花々が咲き満ちてゆく。それは、都市の表層を越えてあふれ出す「いのちの力」の光景。

音と光が共鳴するなか、都市は呼吸するようにその表情を変え、静かに観る者を包み込んでいく。

終わりと始まりが交差するこの時、都市が再び目覚める気配が満ちてゆく。

■**上映時間(土日・祝日のみ上映)** 19時30分～ / 21時00分～

※4月25日(土)から5月6日(水・祝)までの予定上映時間です。

5月9日(土)以降の上映時間については、特設サイトでご確認ください。

※プロジェクションマッピングは上記の時間以外にも別の作品を上映しています。



### 蜷川実花 with EiM

#### 蜷川実花

写真家、映画監督、現代美術家。

写真を中心として、映画、映像、空間インスタレーションも多く手掛ける。

木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。

『ヘルタースケルター』（2012年）ほか長編映画を5作、Netflix『FOLLOWERS』（2020年）を監督。

これまでに写真集120冊以上を刊行、個展150回以上、グループ展130回以上と国内外で精力的に作品発表を続ける。



#### EiM

アーティストの蜷川実花と、科学者・アーティストティックディレクターの宮田裕章、映像ディレクターの名見耶洋、音楽プロデューサー・音響監督の剣持学人らで結成されたクリエイティブチーム。プロジェクトごとに多様なチームを編成しながら活動する。

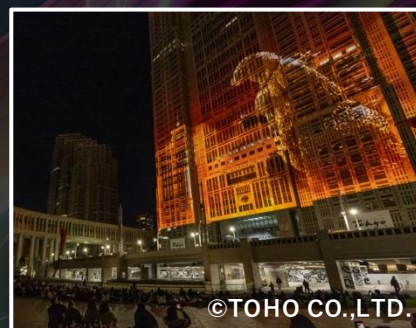
### 東京都庁舎プロジェクションマッピング「TOKYO Night & Light」の概要

- 開催日 荒天時等を除き、毎日上映
- 投影面 東京都庁第一本庁舎 東側壁面
- 観覧場所 都民広場（東京都新宿区西新宿2丁目8-1）
- 上映時間 19時00分／19時30分／20時00分／  
20時30分／21時00分／21時30分

（5月6日（水・祝）までは上記の時間に上映します。  
以降の詳細なスケジュールは特設サイトをご覧ください）

- 特設サイト <https://tokyoprojectionmappingproject.jp>
- 主催 東京都、東京プロジェクションマッピング実行委員会
- その他

- ・本事業では環境に配慮した取組を進めています。  
（グリーン電力の使用）
- ・本取組は「最大の建築物へのプロジェクションマッピングの  
展示（常設）」としてギネス世界記録™に認定されています。



↑ 特設サイト